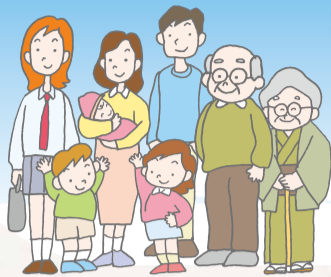


わたしたちのまちの 財政状況



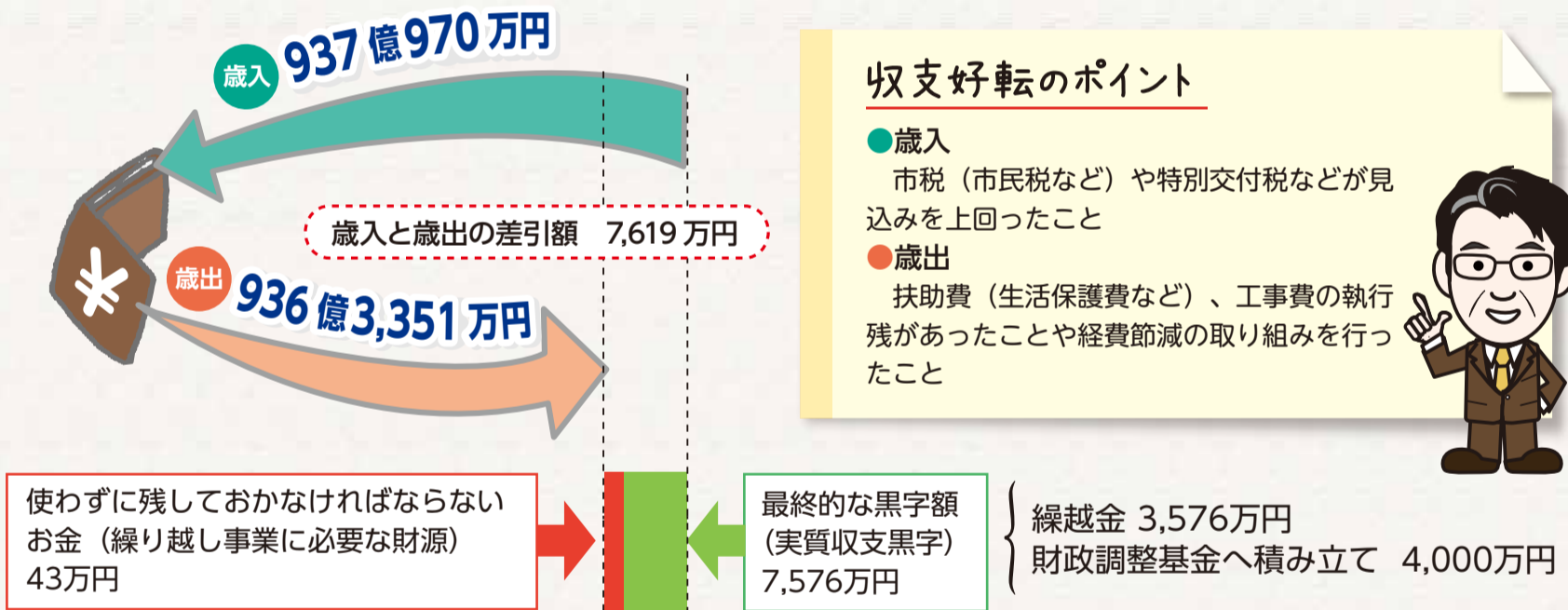
問合せ 市役所財政課 (☎31-4512)

19(令和元)年度一般会計決算の概要をお知らせします

人口減少等により地方交付税が減少傾向にある中で、19(令和元)年度の予算編成では、課題である「歳入に見合った歳出」規模の実現のため、「予算の総点検」に取り組むとともに、「まちづくり基本構想」の重点戦略である、まちの活力を高める「経済活性化」を最優先とし、「人材育成」「都市機能向上」の3つの分野に重点を置き、これら事業の実施に必要な一般財源に相当する額である11億円に、19(令和元)年度限りの義務的経費の増加分等の8億円を加えた19億円を基金(貯金)から繰り入れた他、基金からの借入金の返済繰り延べにより、予算を編成しました。

予算執行の段階においては、歳入で市税や特別交付税などが予算額を上回ったことや、生活保護費などに関する国の負担金等、約2億4,000万円を概算払いにより多く収入していること(多く収入した国の負担金等は、20(令和2)年度に返還することになっています)、また、歳出で扶助費ならびに工事契約差金などによる執行残が生じた結果、一般会計における収支は、基金(貯金)を繰り入れずに7,619万円の黒字となりました。この黒字のうち、43万円を20(令和2)年度に繰り越した事業の財源に充当することから、最終的な黒字額は7,576万円となり、このうち繰越金3,576万円を確保し、残りの4,000万円を財政調整基金に積み立てることとしました。

長期的な課題である人口減少問題に加えて、新型コロナウイルス感染症の影響により、市税収入等が大幅に減少することが想定されるため、21(令和3)年度の予算編成については、自主財源の確保に最大限努めるとともに、歳出予算の抑制をしつつ、「新型コロナウイルス感染症の影響からの回復～地域経済の活性化と雇用の確保、未来を担う人材育成～」を大きなテーマと設定した上で、まちづくり基本構想における重点戦略の取り組みをさらに推進し、限られた財源を真に必要な取り組みに対して投資するなど、厳しい状況下にあっても次の世代へこのまちのみらいを引き継いでいくことができる予算となるように取り組んでいきます。



19(令和元)年度決算の詳細は次のページをご覧ください ➡

※お知らせする数値は、各項目で四捨五入しているため、合計額が一致しない場合があります。

国勢調査 2020



国勢調査イメージキャラクターセンサくん

○国勢調査のご回答ありがとうございました

皆さんにご回答いただいた内容は、国において集計を行い、21(令和3)年6月頃に速報を公表した後、詳細な結果を順次公表する予定です。

※調査票がお手元がない場合、お手数ですが右記の問合せ先までご連絡ください。

問合せ

- 令和2年国勢調査釧路市実施本部 ●釧路支部：市役所都市経営課統計担当 (☎31-4205)
 ●阿寒支部：阿寒町行政センター地域振興課地域振興担当 (☎66-2122)
 ●音別支部：音別町行政センター地域振興課 (☎01547-6-2231)

○まだご回答がお済みでない方へ

ご回答がお済みでない世帯の方は、お忙しいことは存じますが、調査票へご記入いただき、一緒に配布しております郵送提出用封筒にて提出をお願いします。